

令和3年3月29日

定期的確認結果（公示）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 機構長選考会議

大学共同利用機関法人自然科学研究機構長の定期的確認結果について、大学共同利用機関法人自然科学研究機構機構長選考等規則第11条第5項の規定に基づき公表する。

記

1 定期的確認結果

令和元年度における小森機構長の業務執行について、適切に執行されていることを確認した。

2 理由

小森機構長は、「国際共同研究を通じて世界最高水準の自然科学研究を推進」及び「世界最先端の共同利用・共同研究環境を用いて大学等の研究力強化に寄与」を目標として掲げ、これらの実現に向けた各種取組を通じ、優れたリーダーシップを発揮した。

【主な取組】

- ・ 海外機関との機関・分野を超えた組織的連携を目指す国際連携研究センターにおいて、新たに「定量イメージング生物学研究部門」を設置するなど、機構の国際連携研究を更に発展・深化
- ・ 大学の枠を越えて若手研究者を育成する「NICA フェロー」事業を立ち上げるなど、ネットワーク型共同利用・共同研究を更に推進・発展
- ・ 産学連携室の設置、産学連携コーディネーターの配置等、産学官連携推進体制の整備・強化
- ・ 「EurekaAlert！」を活用した海外への情報発信による国際的な認知度向上
- ・ 機構長のリーダーシップによる女性研究者雇用支援経費の設置、職場保育支援制度

や出張帯同支援制度などの就労支援環境整備

国立大学法人評価委員会による令和元年度に係る業務の実績に関する評価においても、すべての項目において「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」との評価を受けており、期待した業績を挙げていることが確認された。

今後も、大学共同利用機関法人である自然科学研究機構には、自然科学の新たな展開を目指した新しい学問分野の創出とその発展への積極的な取組を期待したい。